iAnnouncer

ユーザーマニュアル

MSFS 2024 向け没入型クルー支援ソフトウェア

対応バージョン v1.5.21 ・ 2026 年 10 月

本書の内容は実際のソフトウェアが優先されます。ソフトウェアおよび本書は予告なく変更されることがあります。

目　次

1　製品概要 5

2　エディションとライセンス 7

2.1　3 つのエディション 7

2.2　機能とエディションの対応表 8

2.3　公式機内放送と放送引換券　[サブスク] 10

2.4　DLC：天気システム　[DLC] 10

2.5　DLC：乗客システム　[DLC] 11

2.6　アカウントとデバイス 11

3　インストールと動作環境 12

3.1　システム要件 12

3.2　オプションコンポーネント 12

3.3　データリソース 13

3.4　個別対応している機体 13

4　クイックスタート 15

5　画面構成 17

5.1　メインウィンドウのレイアウト 17

5.2　トップバー 17

5.3　タブバー 17

5.4　フッター 17

5.5　「開始」をクリックした後 18

6　各ページの説明 19

6.1 ホーム [無料] 19
6.2 計画 [無料] 20
6.3 地図 [永久版] 22
6.4 通信 [サブスク] 23
6.5 GSX [永久版] 25
6.6 空港 [永久版] 26
6.7 キャリア [永久版] [サブスク] 27
6.8 飛行 [永久版] [サブスク] 29
6.9 着陸（条件付きタブ） [永久版] 31
6.10 安全ビデオ（条件付きタブ） [無料] [永久版] 31
6.11 履歴 [永久版] 32
6.12 状態 [無料] 32
6.13 アナウンス [無料] [サブスク] 33
7 乗客システム [DLC] 37
7.1 客室シミュレーション飛行の開始 37
7.2 客室設定 37
7.3 乗客ページ 39
7.4 飛行中の客室 44
7.5 客室乗務員とのやりとり 45
7.6 採点と精算 47
7.7 乗客の設定 [DLC] 49
8 設定 52
8.1 一般設定 [無料] 52

8.2　アカウント　[無料] 54
8.3　放送と音声　[無料]　[サブスク] 56
8.4　副操縦士　[永久版]　[サブスク] 57
8.5　RAAS 設定　[サブスク] 58
8.6　ATC　[サブスク] 60
8.7　地上通信　[サブスク] 61
8.8　地図とチャート　[永久版] 62
8.9　天気　[DLC] 63
8.10　パネル　[サブスク] 64
8.11　録画設定　[サブスク] 65
8.12　飛行履歴　[サブスク] 66
8.13　リソース　[永久版]　[サブスク] 67
8.14　Web　[サブスク] 68
8.15　ログ報告　[サブスク] 69
8.16　バージョンと更新　[無料] 70
9　よくある質問 72
10　免責事項 75

1　製品概要

iAnnouncer は、Microsoft Flight Simulator（MSFS 2024）向けに開発された没入型のクルー支援ソフトウェアです。シミュレーターとリアルタイムに接続し、飛行の各フェーズで客室アナウンス、副操縦士のコールアウト、航空交通管制（ATC）、地上通信、滑走路認識警報（RAAS）などを自動で提供します。さらにリアルタイム地図、空港チャート、チェックリスト、フライト評価、キャリア、フライトリプレイなどのツールも備えており、一人でのフライトでも本格的なクルー体験が得られます。

主な機能：

- 客室アナウンス（PA）：飛行フェーズに応じて、搭乗、安全のしおり、離陸、巡航、機内食、降下、着陸などのアナウンスを自動再生します。航空会社の録音パック、システム TTS、高品質な AI 音声、航空会社専用の原稿に対応しています。
- 副操縦士：離陸速度、ギア、フラップ、高度、安定進入、着陸評価などの標準コールアウトを行います。複数の言語に対応しています。
- ATC：航空交通管制エンジンを内蔵し、クリアランス、タキシー、離陸、出発・到着、CPDLC データリンク、AI トラフィックに対応しています。
- 地上通信：地上係員との会話でプッシュバック、エンジン始動、地上電源の切断などの手順を進めます。GSX Pro と連携できます。
- RAAS：滑走路認識警報システムです。滑走路接近、滑走路進入、残距離、オーバーラン防止（ROP）などを音声で警告します。
- 地図と空港：リアルタイム地図、航路と飛行方式の表示、空港情報、METAR 気象、オフラインチャートの表示を行います。
- フライト管理：飛行フェーズの判定、チェックリスト、フライト評価、着陸分析、履歴記録とクラウドバックアップを提供します。
- キャリア：航空学校の卒業生としてスタートし、航空会社への入社、勤務表に沿った乗務、ライセンス取得、機長への昇格を目指します。

- リプレイ：フライトの録画と再生、編集、マルチカメラ、動画および KML の書き出しを行います。
- パネルストリーミング：コックピットの計器画面を個別に取り出し、独立したウィンドウや他のデバイスに表示します。

2　エディションとライセンス

iAnnouncer には無料版、永久版、サブスク版の 3 つのエディションがあり、このほかに別途入手する DLC（現在は天気システムと乗客システム）があります。本書では、各ページと設定カテゴリの見出しの後ろに、必要なエディションをタグで示しています：

タグ	意味
無料	無料版で使用できます。購入は不要です。
永久版	永久版が必要です（一度の購入で永久に有効）。サブスク版にも永久版の機能がすべて含まれます。
サブスク	サブスク版が必要です（購読期間中のみ使用できます）。サブスクリプションは永久版を前提としており、購読コードは永久版を購入済みのアカウントでのみ引き換えられます。
DLC	DLC：別途入手する拡張コンテンツで、永久版やサブスクリプションには含まれません。現在の DLC は天気システムと乗客システムです。

ヒント　見出しにタグが 2 つ以上ある場合（例：[無料][サブスク]）は、そのページ自体は使用できますが、一部の機能に上位のエディションが必要であることを示します。詳細は本文で項目ごとに説明しています。

2.1　3 つのエディション

エディション	内容	入手方法
無料版	ホーム、計画、アナウンス（航空会社の録音パックをフェーズに応じて自動再生）、状態、設定。安全ビデオは音声のみで映像は表示されません。表示言語は英語に固定され、「開始」を	ダウンロードしてすぐに使用できます。期間の制限はありません。

	クリックするたびに広告が表示されます。	
永久版	無料版のすべての機能に加えて、地図、GSX、空港、キャリア、飛行（評価）、着陸分析、履歴、副操縦士のコールアウト、安全ビデオの映像、7 つの表示言語、広告の非表示、iniBuilds A380 / A220 を除くすべての個別対応機体。	公式サイトで引換コードを購入し、アクティベーションウィンドウでメールアドレスと引換コードをアクティベーションコードに交換します。一度の支払いで永久に有効です。
サブスク版	永久版のすべての機能に加えて、すべての TTS と AI 音声、通信ページ（ATC / 地上 / 機内）、RAAS、チェックリスト、フライト情報バー、パネルストリーミング、リプレイと着陸リプレイ、クラウドバックアップ（履歴とキャリア）、Web アクセス、ログ報告、iniBuilds A380 / A220 の個別対応、キャリアでの A320 / B737 以外の機種のライセンス、公式機内放送の利用資格（航空会社ごとに放送引換券が 1 枚必要）。	公式サイトで購読コード（1 年 / 1 か月）を購入し、「設定 → アカウント → 購読設定」で引き換えます。自動更新はありません。期限が切れるとサブスクの機能は停止しますが、永久版の機能はそのまま使用できます。

2.2 機能とエディションの対応表

機能	必要なエディション
ホーム、計画、状態、設定	**無料**
アナウンス：航空会社の録音パック、放送編集、自動再生	**無料**
アナウンス：通常 TTS / 高度な AI 音声、専用 AI 音声	**サブスク**
アナウンス：公式機内放送パック（別途放送引換券が必要）	**サブスク**
安全ビデオ（音声）	**無料**

安全ビデオ（映像）	**永久版**
地図、空港、GSX ページ	**永久版**
キャリア（A320 / B737 のライセンス）	**永久版**
キャリア（その他の機種のライセンス）	**サブスク**
飛行の概要、フライト評価、着陸分析、履歴	**永久版**
副操縦士のコールアウト（録音）	**永久版**
副操縦士の TTS 音声、機内通話	**サブスク**
通信ページ：ATC、地上通信、CPDLC	**サブスク**
RAAS 滑走路認識警報	**サブスク**
チェックリスト、フライト情報バー（デスクトップ版とウェブ版）	**サブスク**
リプレイ、着陸リプレイ	**サブスク**
パネルストリーミング	**サブスク**
クラウドバックアップ（履歴、キャリア）	**サブスク**
Web アクセス（LAN 内のミラーページ）	**サブスク**
ログ報告（問題の報告）	**サブスク**
リソース：航法データ、フライトスケジュール	**永久版**
リソース：ATC リソース	**サブスク**
個別対応機体（iniBuilds A380 / A220 を除く）	**永久版**
iniBuilds A380 / A220 の個別対応	**サブスク**
表示言語（English 以外の 6 言語）	**永久版**
天気システム（リアルタイムの天気注入）	**DLC**
乗客システム（客室シミュレーション飛行）	**DLC**

ヒント　購入していない機能のページも開いて確認することはできますが、「永久版の購入が必要です」や「～はサブスク限定機能です」といったロック表示が出ます。ロックされたカテゴリ内のスイッチはすべてオフとして扱われます。

2.3　公式機内放送と放送引換券 [サブスク]

公式機内放送は、航空会社ごとに制作された本格的な客室アナウンスパックで、サブスクリプションの機能です。航空会社 1 社につき「放送引換券」を 1 枚使って引き換えます。引き換えた航空会社はアカウントに永久に紐付けられ、いつでもダウンロードや更新ができます。

- 利用条件：アカウントに有効なサブスクリプションが必要です。期限が切れると公式機内放送は一時的に使用できなくなりますが、再度購読すると自動的に使用できるようになり、引き換え済みの航空会社が失われることはありません。
- 引換券 1 枚で航空会社 1 社を引き換えられます。航空会社はソフトウェア内で自由に選べます。引き換え後の取り消しや譲渡はできません。
- 引換券の入手方法：① 公式サイトで購入（1 枚 €3.00、1 回の注文で 1～10 枚。支払い後、入力したアカウントに自動で追加され、コードの入力は不要です）、② 1 年の購読コードを 1 つ引き換えるごとに 1 枚プレゼント、③ 友達の招待：新規ユーザーがアクティベーション時にあなたの招待コードを入力すると、双方に 1 枚ずつ付与されます。
- 著作権の都合により、公式機内放送パックには音楽、BGM、安全ビデオは含まれません。これらはローカルのアナウンスフォルダにあるファイルが引き続き使用されます。

2.4　DLC：天気システム [DLC]

天気システムは、実際の METAR 観測と GFS / ECMWF / ICON の数値予報モデルを融合し、飛行中に MSFS へリアルタイムで天気を書き込みます。航路に沿って前方の天気を先に取得することもできます。

- 天気システムは DLC のため別途入手する必要があり、永久版やサブスクリプションには含まれません。サブスクリプションが有効かどうかにも関係しません。
- この DLC を所有しているアカウントでのみ、「設定」の左側に「天気」カテゴリが表示されます。所有していない場合は表示されません。
- 入手方法は公式サイトのお知らせをご確認ください。

2.5 DLC：乗客システム [DLC]

乗客システムは「客室シミュレーション飛行」で、乗客全員、客室乗務員、機内サービスをシミュレートします。詳しくは「乗客システム」の章をご覧ください。

- 乗客システムは DLC のため別途入手する必要があり、永久版やサブスクリプションには含まれません。サブスクリプションが有効かどうかにも関係しません。
- この DLC を所有しているアカウントでのみ、フライト開始時に「客室シミュレーション飛行」が選べ、「設定」の左側に「乗客」カテゴリが表示されます。
- 入手方法は公式サイトのお知らせをご確認ください。

2.6 アカウントとデバイス

- ライセンスは、アクティベーション時に使用したメールアドレスをアカウントとして管理します。1 つのアカウントを同時に使用できるのは 1 台の PC だけです。PC を替える前に、元の PC でプログラムを終了するか「ログアウト」をクリックしてください。
- 初回起動時（および利用規約の改訂後）に「利用規約」が表示され、同意すると本ソフトウェアを使用できます。規約の全文は「設定 → バージョンと更新 → 利用規約」でいつでも確認できます。

3　インストールと動作環境

3.1　システム要件

- OS：Windows 10 / 11（64 ビット）。
- シミュレーター：Microsoft Flight Simulator 2024（Steam 版または Microsoft Store 版）。本ソフトウェアは MSFS 2020 には対応していません。
- SimConnect：ソフトウェアに内蔵されているため、別途インストールする必要はありません。WASM モジュールのインストールも不要です。
- Microsoft Edge WebView2 ランタイム：地図、空港地図、GSX ページ、安全ビデオに必要です。Windows 11 には通常プリインストールされています。地図ページでインストールされていない旨が表示された場合は、Microsoft の公式サイトからダウンロードしてインストールし、「再試行」をクリックしてください。

3.2　オプションコンポーネント

コンポーネント	用途
GSX Pro	GSX ページ、地上通信との連携、ATC の GSX プッシュバックおよびスポット連携に使用します。GSX の設定でリモートサーバー（Remote）を有効にする必要があります。
AI_TTS サービス	「高度な TTS」アナウンスエンジンです。AI 音声合成により、より自然なアナウンスを生成します。設定の「ツール入手」から入手できます。
iareplay-bridge コミュニティパッケージ	リプレイのフライバイカメラ効果に使用します。
FSLTL モデルライブラリ	ATC の AI トラフィックで使用する機体モデルです。
オフラインチャートパ	空港ページでのチャート表示に使用します。オフラインチャートフォル

ック（*.fcp）	ダに配置してください。

3.3 データリソース

ソフトウェアの動作に必要なデータは、「設定 → リソース」でまとめて入手します：

リソース	説明
航法データ	必須です。空港、滑走路、飛行方式、タイムゾーンなどの情報はすべてこのデータから取得します。プログラム起動時にバックグラウンドで自動的に補完または更新されます。
フライトスケジュール（AI 交通に必須）	オプションです。空港の出発・到着案内板や ATC の AI トラフィックに必要です。
ATC リソース（エンジンと AI 交通に必須）	オプションです。ATC 機能を使用する前に必ずダウンロードしてください。ダウンロード後は自動的に展開されます。

ヒント リソースのダウンロードは「開始」をクリックする前に済ませてください。実行中はこれらのファイルが使用中のため、ダウンロードが完了しても「再起動後に適用」と表示されるだけで、次回プログラムを起動したときに差し替えられます。

3.4 個別対応している機体

以下の機体では、ライト、オートパイロット、フラップ、スピードブレーキ、APU、チョーク、ドア、V 速度などの状態を機体自身のデータから直接読み取るため、最も正確な情報が得られます。その他の機体ではシミュレーターの汎用データを使用しますが、同様に問題なく使用できます。

- Fenix A319 / A320 / A321
- FlyByWire A32NX、FlyByWire / Headwind A380X
- FSLabs A321 / A321neo

- iniBuilds A300 / A310 / A330 シリーズ / A340-300 / A350-900 / A350-1000 / A380
- ToLiss / Aerosoft A340-600
- Synaptic A220-100 / -300
- PMDG 737（-600/-700/-800/-900）、PMDG 777（-200 / -200LR / -300ER / F）
- iFly 737 MAX 8
- TFDi MD-11
- Aerosoft CRJ（550 / 700 / 900 / 1000）
- Asobo 787

4　クイックスタート

初めて使用する場合は、以下の手順で一連のフライトを行えます：

1. iAnnouncer を初めて起動すると「利用規約」が表示されます。内容を読んで「同意して続行」をクリックします（「同意せずに終了」をクリックするとプログラムが終了します）。
2. トップバー右側の歯車（設定）をクリックして設定ページを開きます。
3. 「一般設定」で表示言語とテーマを選択します。MSFS と一緒に自動起動したい場合は、「自動起動」がオンになっていることを確認します。
4. アクティベーション：まだアクティベートしていない場合は、起動後に「iAnnouncer のアクティベーション」ウィンドウが表示されます。引換コードをアクティベーションコードに交換するか、アクティベーションコードで直接アクティベートします（詳しくは「設定 → アカウント」を参照してください）。
5. 「アカウント」で「SimBrief アカウント」（SimBrief のユーザー名または Pilot ID）を入力し、必要に応じて機長と客室責任者の英語名を入力します（アナウンスで読み上げられます）。
6. 「リソース」で「すべてダウンロード」をクリックします。ATC や AI トラフィックを使用する場合は、「ATC リソース」と「フライトスケジュール」もそれぞれダウンロードします。
7. 必要に応じて機能を有効にします：ATC → ATC を有効化、地上通信 → 地上通信を有効化、録画設定 → 記録機能を有効にする、フライト情報バーなど。変更したらフッターの「適用」をクリックします。
8. SimBrief のウェブサイトでフライトプランを作成し、「計画」ページで「SimBrief プランをインポート」をクリックします。SimBrief を使用しない場合は、「ホーム」で航空会社、巡航高度、出発空港（DEP）、到着空港（ARR）を手動で入力し、簡易プランで運航することもできます。

9. MSFS で機体をスポットに読み込んでから、フッターの緑色の「開始」をクリックします。ボタンが赤色の「停止」に変わり、トップバーにリアルタイムデータが表示されれば接続完了です。

10. 通常どおり飛行します。アナウンス、副操縦士のコールアウト、飛行フェーズはすべて自動で進行します。必要に応じて、ホームで手動でフェーズを切り替えたり、搭乗や機内食のアナウンスを再生したりできます。ATC や地上係員とのやり取りは「通信」ページで行います。

11. 着陸してスポットに停止したら、フッターの「フライト提出」をクリックします。今回のフライトの成績が「履歴」に記録されます。

12. フライトを終了するときは「停止」をクリックし、確認ダイアログで「切断」を選択します。



図 1　ホーム（フライト情報、飛行フェーズ、飛行進捗、ライト）

5　画面構成

5.1　メインウィンドウのレイアウト

メインウィンドウは上から順に、トップバー、タブバー、現在のページ、フッターで構成されます。ウィンドウサイズは「UI スケール」に合わせて拡大縮小され、最大化はできません。プログラムは 1 つのインスタンスしか実行できず、もう一度起動すると既存のウィンドウが前面に表示されます。

5.2　トップバー

- 左側：ソフトウェア名と現在の機体コード（識別できない場合は -- と表示）。
- 中央：7 つのリアルタイム表示。左から GS 対地速度、IAS 指示対気速度、TAS 真対気速度、ALT 高度、AGL 対地高度、HDG 機首方位、V/S 昇降率です。シミュレーターに接続していない場合は -- と表示されます。
- 右側の 4 つのボタン：歯車（設定）、コンパクト、最小化、閉じる。
- コンパクト：ウィンドウがその場で折りたたまれ、トップバーとライトパネルだけが表示され、常に最前面に表示されます。もう一度押すと元のウィンドウに戻ります。
- トップバー全体をドラッグしてウィンドウを移動できます。

5.3　タブバー

タブバーには左から順に、ホーム、計画、地図、通信、GSX、空港、キャリア、飛行、履歴、状態、アナウンスが並びます。このほか条件付きのタブが 2 つあります。「着陸」は着陸分析が作成されると表示されます。「安全ビデオ」は航空会社の安全のしおりビデオを自動再生するときに表示されて自動的に切り替わり、再生が終わると非表示になります。設定ページはタブバーにはなく、トップバーの歯車から開きます。

5.4　フッター

- 「開始」/「停止」：開始するとシミュレーターに接続し、すべての機能を実行します。停止時には「MSFS との接続を切断しますか？」と確認され、「切断」を選択した場合にのみ実際に停止します。

- 「フライト提出」：機体がスポットに停止しており、今回のフライトがまだ提出されていない場合に表示されます。キャリアでの乗務中は「乗務完了」、試験中は「試験提出」と表示されます。
- 「常に手前」：メインウィンドウを常に最前面に表示します。
- 「適用」：すべての設定とアナウンス設定を直ちに保存し、シミュレーターとの同時起動の設定を更新します。アナウンスページでの変更は、「適用」をクリックしたときにのみディスクに書き込まれます。

5.5 「開始」をクリックした後

1. ホームの航空会社、巡航高度、DEP、ARR の 4 項目がすべて入力されている場合：手動入力の場合は簡易プランで運航し、SimBrief をインポート済みの場合はそのプランで運航します。いずれかが欠けている場合、プログラムは自動的に SimBrief プランをインポートします。インポートに失敗した場合は、その原因（SimBrief アカウントが未入力、ネットワークに接続できない、プランに航空会社コードがない、など）が表示されます。
2. プログラムがシミュレーターへの接続を開始します。シミュレーターが起動していない場合は 2 秒ごとに再試行します。30 秒経っても接続できない場合は「MSFS に接続できませんでした。シミュレーターは起動していますか?」と一度だけ表示され、その後も待機を続けます。シミュレーターがフライトに入ると自動的に接続されます。
3. 実行中は出発・到着空港がロックされます。ホームの DEP/ARR は変更できず、計画ページのインポートボタンも使用できません。変更するには先に「停止」してください。
4. 実行中にウィンドウを閉じようとすると「終了するか確認してください」と確認され、飛行中の誤操作による終了を防ぎます。

6　各ページの説明

6.1　ホーム [無料]

ホームでは、今回のフライトの基本情報の設定、飛行フェーズの確認と切り替え、飛行進捗の確認、機体のライトの直接操作を行います。



図 2　ホーム

6.1.1　フライト情報

- 航空会社バナー：航空会社コードを入力すると、その航空会社のロゴが表示されます。タイトルの右側には遷移高度 / 遷移高度層（TA / TL）が表示されます。
- 現在の PA：再生中のアナウンスの名前です。
- 航空会社：3 文字の ICAO 航空会社コード（例：CCA、ANA）。
- 巡航高度：1000～60000 ft。

- 手動操作：「準備」フェーズでは搭乗ボタンが表示され、「搭乗開始」→「搭乗歓迎」→「搭乗終了」の順に再生します。巡航フェーズでは機内食アナウンスのボタンとして「軽食」（スナック）、「軽食」（ライトミール）、「食事」の 3 つが表示されます。

6.1.2　飛行フェーズ

10 のフェーズは順に、準備、出発滑走、離陸、上昇、巡航、降下、進入、着陸、到着滑走、駐機です。プログラムはフェーズを自動で判定し、アナウンスとコールアウトを実行します。通過したフェーズは緑、現在のフェーズは青で点灯します。フェーズをクリックすると手動で切り替えられます（切り替えると再生中のアナウンスは停止します）。

6.1.3　飛行進捗

- 運航方式（SimBrief / 簡易）、シミュレーターの現地時刻と UTC、飛行時間、残り時間。
- DEP ──✈── ARR 進捗バー：両端に 4 文字の空港 ICAO コードを入力できます（空港の候補が表示されます）。手動で入力すると簡易プランで運航します。開始後はロックされます。

6.1.4　ライト

「外部ライト」と「内部ライト」の 2 つのスイッチ群は、現在の機体の実際のスイッチ（ナビゲーションライト、ビーコンライト、着陸灯、タキシーライト、ストロボライト、ロゴライト、ウイングライト、ランウェイターンオフライト、シートベルト、禁煙など）に対応しており、ここから直接操作できます。シミュレーターに接続していない場合や、機体にそのスイッチがない場合はメッセージが表示されます。

6.2　計画 [無料]

計画ページでは、SimBrief のフライトプラン（OFP）のインポートと確認を行います。



図 3　計画ページ

- 「フライト情報」：便名、コールサイン、機種、機体記号、出発 / 到着 / 代替空港、出発日時、到着時刻、飛行時間、ブロックタイムのほか、初期巡航高度、コストインデックス、航路距離、平均風、風成分、ISA 偏差、リリース番号、AIRAC サイクルなどのプラン概要が表示されます。
- 「ロード・ルート」：航路燃料、ブロック燃料、旅客数、手荷物、ペイロード、空虚重量、ZFW、TOW、LW などのロードシート（計画 / 最大 / 占有 / 状態）と、航路の全文および「コピー」ボタンがあります。
- 「OFP を開く」：OFP の全文を別ウィンドウで表示します。「全文コピー」でコピーできます。
- 「SimBrief プランをインポート」：SimBrief から最新のプランを取得します。事前に設定で SimBrief アカウントを入力しておく必要があります。

ヒント　使用手順：SimBrief でプランを作成 → 「SimBrief プランをインポート」をクリック → ホームに戻って内容を確認 → 「開始」をクリック。飛行中は新しいプランをインポートできません（出発・到着空港が変わってしまうため）。先に停止してください。

6.3 地図 [永久版]

リアルタイム地図です。ベースマップは「地図」（道路地図）と「衛星」を切り替えられます。



図 4　地図ページ

- 航路を表示：SimBrief の航路を緑の線で表示します。
- 機体を追従：地図を常に自機を中心に表示します。
- 軌跡線を表示：飛行済みの航跡を赤い線で表示します。
- 他の航空機を表示：シミュレーター内で 100 km 以内にいる航空機を表示します。ATC が有効な場合は ATC の AI トラフィックも表示されます。
- 他のプレイヤーを表示：他の iAnnouncer ユーザーの位置を表示します（自分の位置を共有するには「一般設定」でニックネームを入力する必要があります）。
- 水蒸気・雲：「地図とチャート」設定で OpenWeather API Key を入力する必要があります。
- 「手順」ボタン：手順パネルを開き、出発滑走路 / SID / トランジション、到着滑走路 / 進入 / STAR / トランジションを選択すると、地図上にオレンジと青の線で表示されます。

- ATC からタキシー許可が出ると、地図上にタキシー経路が緑の太線で表示されます。地図は前回の表示位置を記憶します。

チェック項目の初期値は「設定 → 地図とチャート → デフォルト表示項目」で設定します。このページで一時的に変更しても設定には反映されません。

6.4 通信 [サブスク]

通信ページには、ATC との交信、地上通信、機内通話、空港の出発・到着案内板がまとめて表示されます。右上の「ATC」「地上」「機内」「案内板」の 4 つのタブで表示内容を切り替え、「クリア」ボタンで記録を消去します。各機能のオン / オフは設定ページで行います。ページ上部の通知バーには、客室乗務員からの呼び出しや、GSX で操作が必要なことが表示されます。



図 5　通信ページ

6.4.1 ATC

- 左側には COM1 / COM2 の周波数、トランスポンダー、ATIS 情報、IFR/VFR の表示と、交信記録が表示されます。

- 交信記録は「自機」「トラフィック」「CPDLC」で絞り込めます。送信中かどうかや、現在活動中および駐機中の AI トラフィックの数も表示されます。
- 右側の「メニュー」：現在利用できる管制へのリクエストです。クリックすると管制官にリクエストを送信します。周波数が使用中の場合やプランのインポート中は、リクエストボタンが一時的に使用できなくなり、見出し行に「周波数使用中」または「フライトプランを取り込み中です。完了してからリクエストしてください。」と表示されます。COM1 を管制席に合わせていない場合は「先に COM1 を管制局に合わせてください。」と表示されます。
- 右側の「周波数」：付近の空港の無線局の周波数を一覧表示します。行をクリックすると COM1 に、横のボタンで COM2 に設定します。118.000～136.990 の周波数を手動で入力することもできます。
- 右側の「CPDLC」：データリンクのログオン / ログオフ、PDC（出発前クリアランス）の要求、ウェイポイント、直行、高度、上昇、降下、プッシュバック、タキシーなどのリクエストと、応答待ちのメッセージを扱います。

ヒント　ATC を使用するには、設定で ATC を有効化していること、「ATC リソース」をダウンロード済みであること、SimBrief プランをインポート済みであること、「開始」をクリック済みであることのすべてが必要です。ATC タブには、現在どの段階で止まっているかが表示されます。

6.4.2　地上

- 地上係員との交信記録を表示します。
- 「片発タキシー（今回のレグ）」：今回のレグを片発でタキシーするかどうかを設定します。
- 「無線チェック」：グランドを呼び出して交信テストを行います。
- 「直前のシナリオを再生」：直前の地上交信をもう一度再生します。
- 「GSX サービス」：GSX の各サービスの状態を表示します。

6.4.3　機内

- 客室乗務員、副操縦士、機長の間の機内通話の記録を表示します。

- 「副操縦士が応答」をオフにしている場合、客室乗務員から呼び出しがあると「承認」/「後で」ボタンが表示されます。60 秒以内に選択しないと副操縦士が代わりに応答します。
- サイドバーには、搭乗の進捗、降機、ドア、客室サービス、客室準備などの客室の状態が表示され、こちらから客室乗務員を呼び出すこともできます。

6.4.4 案内板

空港の「出発・到着」フラップ式案内板です。航空会社、時刻、行先 / 出発地、便名、状況を表示します。空港は「現在の管制空港 → プランの出発空港 → 最寄りの空港」の順で自動的に選択されます。「フライトスケジュール」のダウンロードが必要です。

6.5 GSX [永久版]

GSX Pro のリモート操作用ウェブ画面をページ全体に埋め込みます。ここから GSX の各種地上サービスを直接呼び出せます。表示言語が中国語、日本語、韓国語の場合は自動的にその言語に翻訳され、その他の言語では GSX の原文（英語）が表示されます。



図 6　GSX ページ

ヒント　「GSX Pro を待機中」と表示されたままの場合は、MSFS と GSX Pro を起動し、GSX の設定でリモートサーバー（Remote）を有効にしてください。プログラムは 3 秒ごとに自動で再試行します。

6.6　空港 [永久版]

空港情報、気象、チャートを確認します。4 文字の ICAO コードを入力して Enter キーを押すと検索できます。入力欄をクリックして、現在のプラン（DEP / ARR）や航法データベースから空港を選択することもできます。

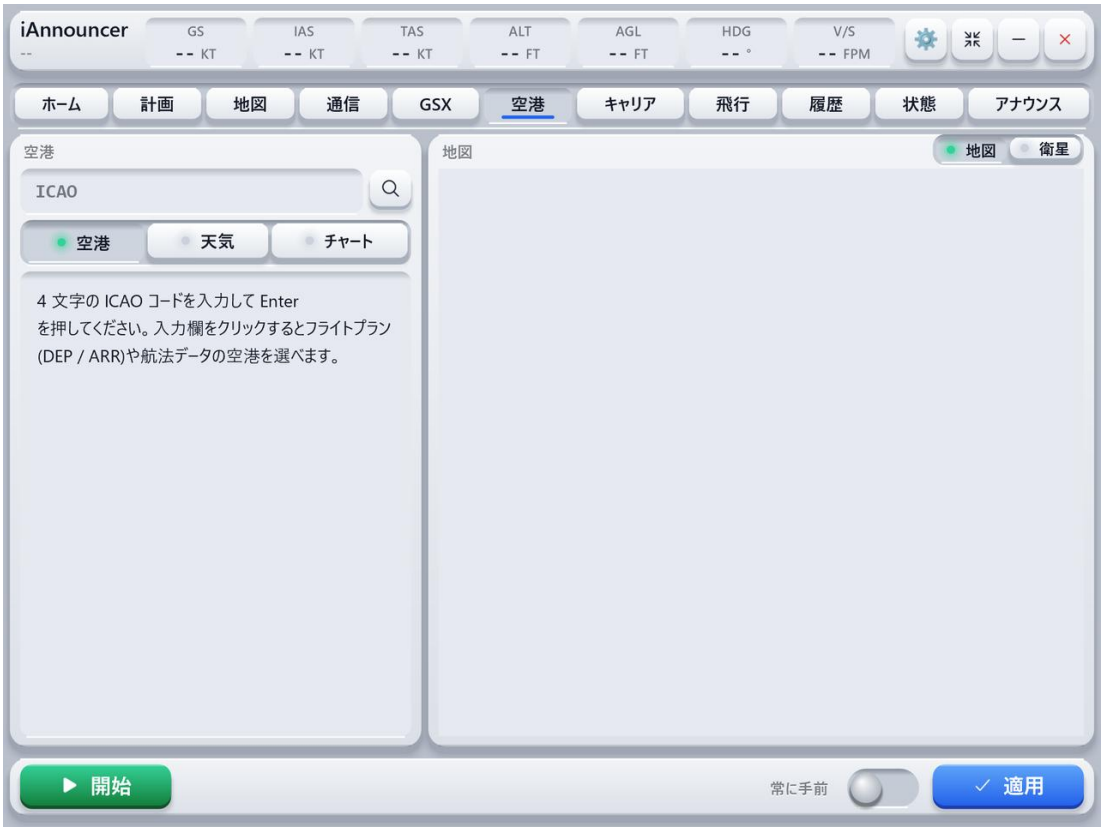


図 7　空港ページ

- 「空港」：ICAO / IATA、名称、都市、標高、座標、磁気偏差、遷移高度、遷移高度層と、各滑走路の磁方位、長さと幅、進入端標高、ILS 周波数を表示します。
- 「天気」：デコード済みの METAR です。風、視程、雲、天気現象、気温、露点、気圧などを表示します。

- 「チャート」：オフラインチャートです。出発、到着、進入、空港、地上走行図、参考資料に分類されています。ビューアは拡大縮小とドラッグ、デイ / ナイトモードに対応し、自機の位置を表示します。常に最前面の小ウィンドウで開くこともできます。
- 右側の地図には空港の位置が表示されます。地図 / 衛星を切り替えられます。

ヒント　チャートは、オフラインチャートフォルダ内の *.fcp チャートパックから読み込まれます。パックがない場合は、チャートパックを配置するか、「設定 → 地図とチャート」でフォルダを指定するよう案内が表示されます。

6.7　キャリア [永久版] [サブスク]

永久版では A320 と B737 のライセンスを取得できます。その他の機種のライセンスにはサブスクリプションが必要です。

航空会社のパイロットとしてのキャリアをシミュレートします。航空学校の卒業生としてスタートし、航空会社への入社、勤務表に沿った乗務、型式ライセンスの取得、給与の受け取り、機長への昇格を目指します。セーブデータは暗号化して保存されます。



図 8　キャリアページ

6.7.1　プロフィールの作成

初めて開いたときに、パイロット名、国 / 地域、パイロット番号、初期航空会社、ベース、資格訓練を入力し、「入社して訓練開始」をクリックします。スタート時の条件：初期ライセンスはなく、小規模な航空会社から始まり、訓練債務を返済する必要があります。

6.7.2　各セクション

- 概要：昇格の進捗、契約、疲労度、航空会社のランク、警告、総区間、平均点、資金、給与、訓練債務、純資産のほか、注意事項、次の便、今週のチャレンジを表示します。
- メール：会社からの連絡です。すべて既読にしたり、関連するモジュールに移動したりできます。
- 勤務：現在の任務（便名、機種、距離、飛行時間、出頭時刻）、「プラン作成」（SimBrief のディスパッチページを開く）、「飛行開始」、休暇、回復薬の使用を行います。勤務表は距離と機種で絞り込んで「スケジュール生成」し、「承認」できます。型式試験もここで受験します。
- 会社：航空会社の情報と路線網の地図です。

- ライセンス：型式資格、訓練、試験、機種の習熟度を表示します。「訓練開始」で訓練を始めます。
- ショップ：休暇券、回復薬、収入倍率、有給休暇、警告の異議申立書、フライト罰金保険などを購入できます。
- 市場：他の航空会社を検索して応募します。結果は翌日に発表され、「応募一覧」で契約を受諾して転職できます。
- 統計、実績：スコアと収入の推移、飛行した路線、ベスト記録を確認し、達成した実績を受け取ります。
- 設定：ローカルでのリセット、セーブデータの削除、クラウドバックアップと自動クラウドバックアップを行います。

ヒント　乗務の流れ：勤務 → プラン作成 → SimBrief で作成 → 飛行開始 → 飛行 → 着陸してスポットに停止したらフッターの「乗務完了」をクリック → 自動的にキャリアページに切り替わり、精算結果が表示されます。

6.8　飛行 [永久版] [サブスク]

「概要」とフライト評価は永久版の機能です。「チェックリスト」「リプレイ」「着陸リプレイ」にはサブスクリプションが必要です。

飛行ページには「概要」と「チェックリスト」の 2 つのサブタブがあります。設定で記録機能を有効にすると、「リプレイ」と「着陸リプレイ」も表示されます。

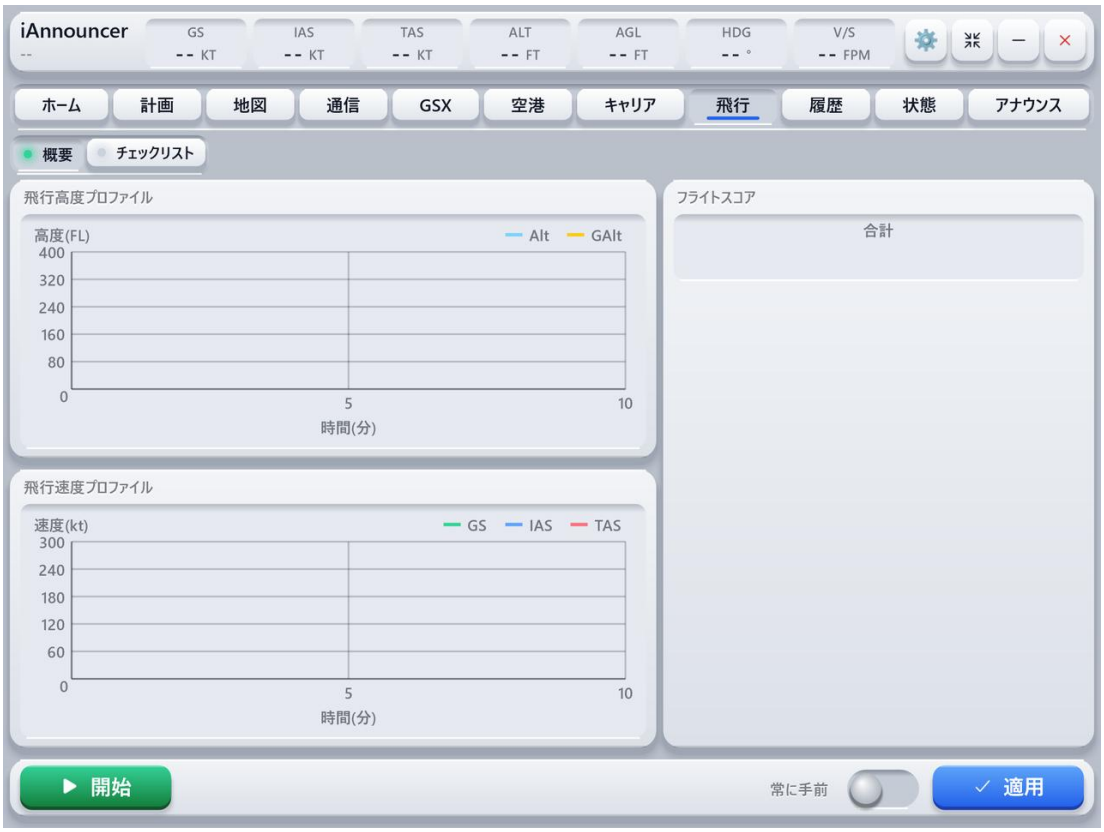


図 9　飛行ページ（概要）

6.8.1　概要

飛行高度のプロファイル、飛行速度のプロファイルのグラフと、今回のフライトの合計点、各フェーズおよび各チェック項目の得点を表示します。評価項目には、フラップ、ギア、ライトの操作タイミング、遷移高度での気圧規正値の設定（上昇時は遷移高度を通過後に STD に設定し、降下時は遷移高度層を通過後に QNH に戻す）、速度制限、姿勢、着陸の出来栄えなどが含まれます。

6.8.2　チェックリスト　[サブスク]

飛行フェーズごとに分かれたチェックリストです。機体から読み取れる項目は自動的にチェックされ、読み取れない項目は手動で確認する必要があります。フェーズごとの「リセット」や「全てリセット」ができます。

6.8.3　リプレイ　[サブスク]

- 再生操作：先頭へ、巻き戻し、再生、停止、早送り、末尾へ、機体の操縦を引き継ぐ、スロー再生 / 高速再生。

- 録画：録画、読み込み、複数読み込み、複数オブジェクトの録画、インスタントリプレイ（直近 2 分間を保持）、ハイライト。
- 編集とテキスト：編集の開始点 / 終了点の設定、編集結果の別名保存、ダイナミックテキストの追加。
- カメラ：フライバイ、カメラ巡回、シネマティック。
- AI とファイル：AI として再生、ゴースト、航跡マーカー、KML の書き出し / 読み込み、動画の書き出し、テレメトリウィンドウ。

6.8.4 着陸リプレイ [サブスク]

着陸のたびに自動で録画します。一覧から記録を選択して、シミュレーター内での再現、再生 / 一時停止、再生速度の変更、動画の書き出しや表示、記録の削除を行えます。

6.9 着陸（条件付きタブ） [永久版]

接地して減速すると自動的に表示され、今回の着陸の詳細な分析を表示します：

- 評価：接地姿勢、接地時の垂直速度、接地時の G 値、接地点、着陸スコア。
- 着陸分析：空港、滑走路、バウンド回数、風向と風速、横風、向かい風 / 追い風、滑走路面の状態、オートパイロット使用の有無、最大降下角、対地速度、対気速度、エイミングポイントからの距離、センターラインからの距離など。
- 接地記録：各接地時の降下率、G 値、ピッチ角、バンク角、横滑り角。
- 右側の地図には接地位置と航跡が表示されます。

6.10 安全ビデオ（条件付きタブ） [無料] [永久版]

無料版では安全ビデオは音声のみが再生され、映像の部分にはロック表示が出ます。永久版以上では映像も含めてすべて表示されます。

航空会社の録音パックに安全のしおりビデオが含まれている場合、自動再生時にこのページに切り替わって全画面で再生され、再生が終わると自動的に非表示になってホームに戻ります。アナウンスページで手動再生したビデオは、アナウンスページの右側でそのまま再生されます。

6.11 履歴 [永久版]

提出済みのフライト記録を確認します。

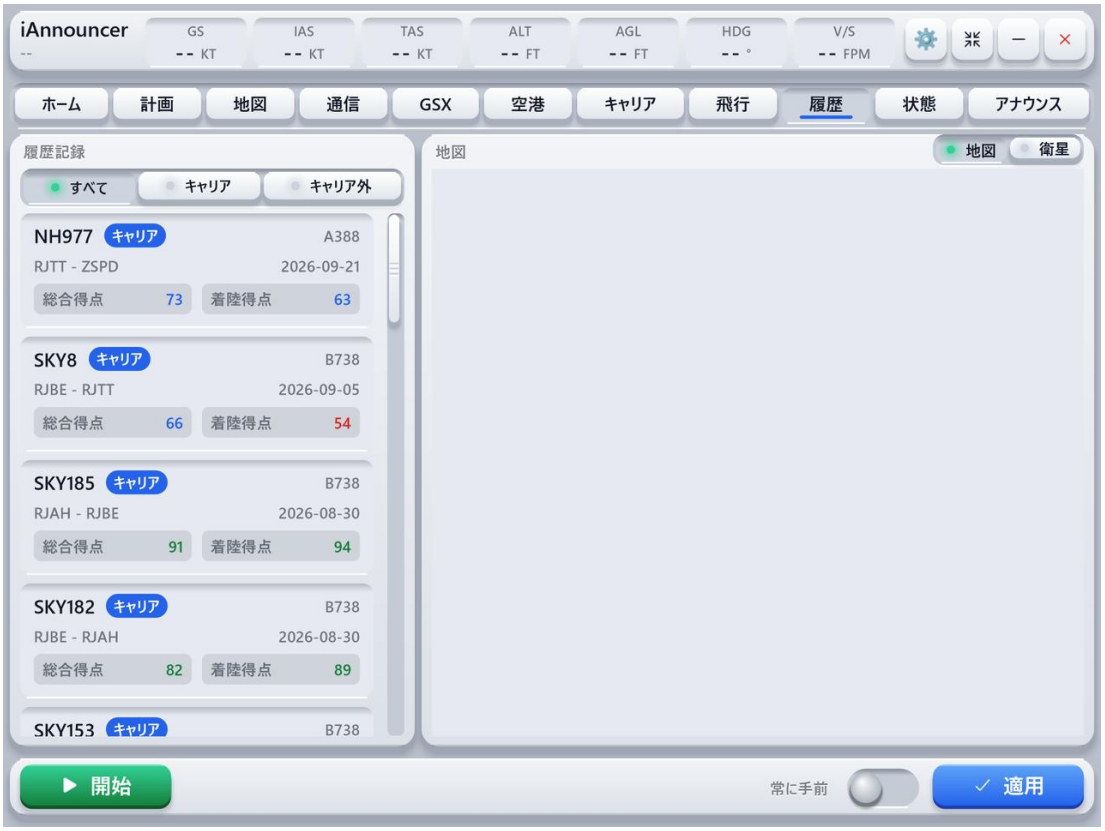


図 10　履歴ページ

- 「履歴記録」：すべて、キャリア、キャリア外で絞り込めます。各記録にはコールサイン、路線、機種、日付、総合得点、着陸得点が表示されます。右クリックで削除できます（キャリアの記録は削除できません）。
- 「フライトスコア」：総合成績と着陸成績を切り替えられます。成績グラフの表示 / 非表示を切り替えられます。
- 地図：記録を選択すると出発・到着空港を結ぶ線を表示します。選択していない場合は、訪れた空港と飛んだ区間を表示します。

6.12 状態 [無料]

読み取り専用のリアルタイムデータで、接続状況や機体の状態を確認するためのページです。シミュレーターに接続していない場合はすべて -- と表示されます。



図 11　状態ページ

- 接続：シミュレーター、SimConnect、GSX、RAAS の接続状態。RAAS の状態には、オフ、未接続、機体読み込み待ち、起動中、作動中、電源なし、抑制中があります。
- 機体情報：種類、メーカー、作者、名称。
- エンジン / APU：各エンジンと APU の N1、N2。
- 速度 / 高度 / 姿勢、位置 / 環境。
- その他パラメーター：フラップ、オートパイロット、ギア、GSX の状態、旅客の搭乗、貨物の搭載進捗、スポイラー、チョーク、地上電源、各ドア。

6.13　アナウンス [無料] [サブスク]

客室アナウンス（PA）の管理と手動再生を行います。

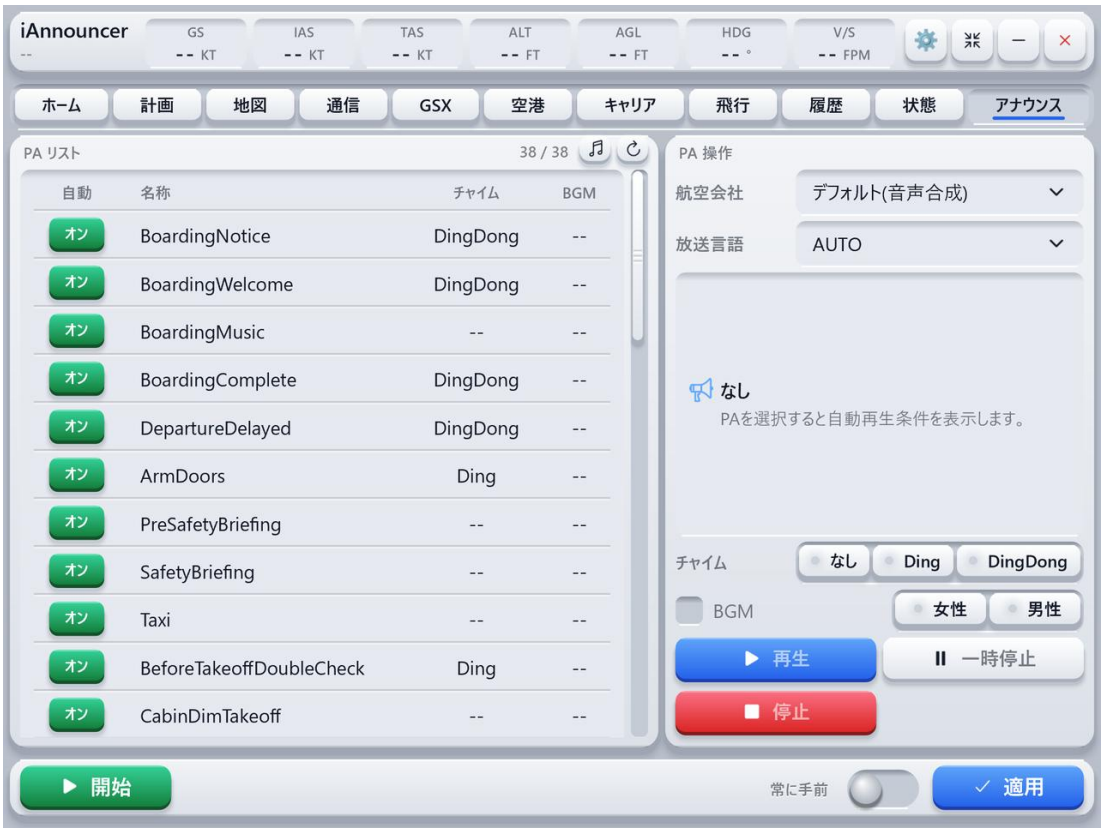


図 12　アナウンスページ

6.13.1　PA リスト

現在の航空会社のアナウンスをすべて一覧表示します。各アナウンスについて、「自動」（対応するフェーズで自動再生するかどうか）、チャイム、BGM を重ねるかどうかを設定できます。「更新」で録音フォルダを再スキャンし、「放送編集」で録音パックの編集ウィンドウを開きます。

6.13.2　PA 操作

- 航空会社：航空会社の録音パックを選択します。「デフォルト(音声合成)」を選ぶと、TTS でテキストからアナウンスを合成します。
- 放送言語：デフォルトの航空会社を選択した場合に言語を指定できます。AUTO を選ぶと、航空会社の所属国、出発地、到着地に応じて自動で選択します（最大 3 言語）。
- 専用 AI 音声の有効化 / 専用 AI 音声の編集：インポートした航空会社について、アナウンスごと、言語ごとに専用の原稿を作成し、AI 音声で読み上げます。
- 再生条件：選択したアナウンスがいつ自動再生されるかを表示します。
- チャイム（なし / Ding / DingDong）、BGM、女性 / 男性。

- 「デフォルト(音声合成)」と専用 AI 音声にはサブスクリプションが必要です。無料版と永久版では航空会社の録音パックを使用できます。
- 「再生」「一時停止 / 再開」「停止」。

ヒント　アナウンスページでの変更はすぐに反映されますが、ディスクに書き込むにはフッターの「適用」をクリックする必要があります。

6.13.3　放送編集

自分で用意した録音や動画を航空会社の録音パックにまとめます。ソースを選択し、ファイルを追加するか直接ドラッグ＆ドロップすると、素材はファイル名に基づいて対応するアナウンスに自動で割り当てられます。手動での割り当て、プレビュー、削除も可能です。最後に「生成」をクリックすると、アナウンスフォルダに書き出されます。航空会社フォルダの名前は 3 文字の ICAO コードにする必要があります。

6.13.4　公式機内放送　[サブスク]

PA リストの見出し行にあるダウンロードアイコン（「公式放送 管理/DL」）をクリックすると、公式機内放送ウィンドウが開きます。「航空会社」で引き換え済みの航空会社を選ぶと、アナウンスのソースが「公式機内放送」になり、声の性別はパックによって固定されます。

- 上部には「残り引換券：N 枚」が表示され、「購入」で公式サイトの引換券購入ページが開きます。右側では ICAO または航空会社名で検索でき、「更新」で一覧を読み込み直します。
- 「招待コード」：「コピー」して友達に送れます。友達がアクティベーション時に入力すると、双方に引換券が 1 枚ずつ付与されます。招待した人数も表示されます。
- 航空会社一覧の「状態」：要サブスク / 未所有 / 所有済み / 最新 / 更新あり / ダウンロード中（進捗と速度）/ 再生停止後に反映 / 失敗。
- 「操作」：未所有の航空会社は「引き換え」をクリックし、確認すると引換券を 1 枚消費します。所有済みの航空会社は「ダウンロード」または「更新」をクリックします。ダウンロード中

は「キャンセル」、失敗した場合は「再試行」ができます。ダウンロードが完了すると、アナウンスページで選択できるようになります。

- 「音声パック」タブ：地上係員や乗務員の音声などの無料音声パックです。サブスクリプションや引換券なしでダウンロードできます。
- 「リクエスト」：制作してほしい航空会社（ICAO または名前）とメモを入力して「送信」します。サブスク会員は、その航空会社のアナウンス録音の zip（.mp3 / .ogg を 10 件以上。添付する場合は必須）と、任意で BGM、搭乗 / 到着音楽、安全ビデオ（.mp4）を添付できます。各ファイルの上限は 2 GB です。アップロードの進捗はウィンドウ下部に表示され、一時停止、再開、破棄ができます。

ヒント　公式機内放送には有効なサブスクリプションが必要です。購読していない場合、航空会社の状態は「要サブスク」と表示されます。引き換え済みの航空会社は、再度購読すると使用できるようになります。

6.13.5　アナウンスの言語と時刻

- 国と言語の対応はデータテーブルから読み込まれ、世界の約 240 の国と地域をカバーしています。
- 機内食アナウンス：1 回目は出発空港の現地時刻で食事 / 軽食を判断し、長距離路線の 2 回目は到着空港の現地時刻で判断します。
- 到着予定時刻は到着空港の現地時刻でアナウンスされます。
- プランをインポートせずにアナウンスページで試聴すると、プレースホルダーにはサンプルの便の情報が入ります。

7　乗客システム [DLC]

乗客システムは、生きた客室をフライトに持ち込みます。SimBrief のフライトプランから乗客名簿を作り、搭乗、安全デモ、客室の安全確認、機内食と機内販売、お手洗いと呼び出しボタン、乗客の要望と気分、急病・酔客・故障・景色などの客室イベントをシミュレートします。客室乗務員はインターホンで機長に確認や報告を行い、あなたの飛び方と対応が乗客満足度に影響し、フライト採点とキャリア精算に反映されます。

ヒント　乗客システムは DLC で、付与されたアカウントにだけ表示されます（サブスクリプションとは無関係）。従来のフライト・簡易フライトは影響を受けず、これまでどおり動作します。

7.1　客室シミュレーション飛行の開始

1. フッターの「開始」をクリックし、「フライト方式の選択」で「客室シミュレーション飛行」を選びます（乗客システム DLC を持つアカウントのみ）。
2. プランの取得方法を選びます：既存の SimBrief プランを読み込むか、SimBrief プランを作成します。
3. プラン読み込み後に「このフライトの客室設定」が開きます。乗客数・受託手荷物・時刻はプランから取得され、この時点で乗客名簿が作られます。サービスレベル、機内食、設備、搭乗の設定を確認して「フライト開始」をクリックします。開始後は客室設定を変更できません。
4. シミュレーターに接続し、タブに「乗客」ページが表示されます。アナウンスページの「機長アナウンス」、インターホンの「その他…」の話題も使えるようになります。

7.2　客室設定

客室設定は「航空会社 + 機種」ごとに前回の選択を記憶し、初めての組み合わせは「標準」から始まります。フライト開始前は計画ページの「客室」タブでも確認・変更できます。



図 13　図：客室設定

カテゴリ	内容
概要	便名、機種、客室レイアウト、座席数と客室乗務員数、地上タイムライン（チェックイン開始、乗務員搭乗、搭乗開始 / 終了、出発予定）、サービスレベル（LCC / 標準 / 上質。選ぶとそのレベルの機内食・巡回の水・Wi-Fi の既定値が適用されます）。
配置と名簿	客室レイアウト（ライブラリ / 自動生成 / カスタム）、乗客数、受託手荷物、同行グループ（家族、子ども）と名簿。氏名は路線両端の国籍構成から作られます。
機内食	クラスごとの食事と飲み物、乗務員食、特別食、提供数の制限 / 搭載数、長距離便の水の巡回。エコノミーには機内食アナウンスで告げた食事が出され、ビジネスは同じ回で先に別途サービスされます（アナウンスは追加されません）。
機内販売	通貨、「販売歩合をキャリア収入に」、編集できる商品カタログ。成人

	乗客の約 7 割が見て、商品と価格によって購入します。
設備と機内エンタメ	Wi-Fi（種類、有料 / 無料）、機内エンタメ（なし / 天井モニター / 座席モニター / 持ち込み端末）、USB 電源、安全のしおり、機内誌。
搭乗	乗務員の搭乗、搭乗順序、一定間隔での搭乗と 1 人あたりの間隔。GSX がある場合は GSX の実際の搭乗人数に従い、一定間隔は GSX がないときだけ使われます。

ヒント　客室乗務員の人数は座席数から自動で決まります：ナローボディは約 50 席に 1 名、ワイドボディの長距離便（ブロックタイム 4 時間以上）は約 30 席に 1 名。

7.3　乗客ページ

客室シミュレーション飛行を開始すると「乗客」ページが表示され、右上に「概要」「座席」「名簿」「サービス」の 4 つのタブがあります。

7.3.1　概要

乗客の平均の気分と搭乗人数、平均の要望（のどの渇き、空腹、トイレ、退屈、不安、疲労）、客室乗務員（それぞれの現在位置と作業）、乗客の意見、客室イベントの記録。



図 14　図：乗客ページ・概要

7.3.2　座席

座席表は機体を横向き（機首が左）に描き、乗客一人ひとりをちびキャラのドット絵で表示します。見た目は名簿の情報（年齢、性別、旅客区分、クラス、職業、常連客）で決まり、服の色と髪型は氏名で固定、今していることがリアルタイムに表示されます。上部で「気分」「渇き」「空腹」「トイレ」「不安」の指標を切り替えると、各座席の左下の小さな点に色で表示されます（緑：良い、青：普通、赤：悪い）。2 階建て機はメインデッキ / アッパーデッキを切り替えられます。



図 15　図：乗客ページ・座席（巡航中の機内食サービス）

- マスの大きさは全機種のうち最も幅の広い機体に合わせて決まるため、どの機種も上下が完全に収まります。胴体が長いときはホイールやドラッグで左右にスクロールでき、下部のスクロールバーに現在位置が表示されます。
- 座席をクリックすると右側の乗客カードに、氏名、クラス、同行、区分、年齢、状態、手荷物、シートベルト、備考（呼び出し、体調不良、けが、乗り継ぎ、常連客、初めての飛行機、ほろ酔い）、気分、いま考えていることが表示されます。「座席モニター」でその席の機内エンタメ画面を開きます。
- カートは 2 マス分で、前後に客室乗務員が 1 名ずつ付きます。搭乗・降機中は乗客が通路を歩き、カートとすれ違うときは座席側に体を寄せて道を譲ります。
- 使用中のお手洗いはドアに赤いランプが点き、アーム済みのドアには点滅する警告帯が表示されます。

キャラクター	**対応する名簿の情報**
大人の男性 / 女性（い	旅客区分 ADT。女性の髪型は氏名で固定（ロング、ボブ、ポニーテー

ろいろな髪型）	ル、ツインテール、お団子）
スーツとネクタイ / スカーフ	ファースト・ビジネスクラスの大人
白髪まじり、眼鏡	65 歳以上
杖	WCHR（車いす介助）
パーカー、ヘッドホン	12～17 歳
子ども / 幼児 / チャイルドシートの乳児	6～11 歳 / 2～5 歳 / 2 歳未満（INS）
黄色の書類ポーチ	UNMIN（一人旅の子ども）
胸元のゴールドカード	常連客（この航空会社の利用歴あり）
ひじ掛けを握る、汗	NERV（不安な乗客）、または初めての飛行機で不安が強い
赤十字	医師 / 看護師が急病対応中
赤い顔 / 青ざめた顔 / 頭の包帯	酔っている / 体調不良 / 揺れでけが
毛布と Z、テーブル、本、スマホ、座席モニター、汗のしずく、点滅ランプ	睡眠、食事、読書、Wi-Fi・音楽、視聴、心配、呼び出しボタン



図 16　図：搭乗中（通路を座席へ向かう乗客）

7.3.3　名簿

全乗客の一覧：座席、氏名、クラス、区分、年齢、状態、気分など。



図 17　図：乗客ページ・名簿

7.3.4　サービス

機内食の回と機内販売の状態と進み具合（提供 / 辞退 / 不足、販売数と売上）、客室システム（ドア、客室照明、温度、お手洗い、Wi-Fi と電波状態）、呼び出しボタンを押している人数。ドア、照明、温度、お手洗いの施錠、Wi-Fi はここで手動操作でき、「乗務員が自動管理」に任せることもできます。



図 18　図：乗客ページ・サービス

7.4　飛行中の客室

- 搭乗：乗務員が先に搭乗し（客室設定で有効な場合）、搭乗許可を求める電話がかかってきます。許可すると搭乗順序どおりに乗客が乗り込み、荷物を収納して着席します。通路側の人は立って道を空けます。搭乗が終わると乗務員が人数を確認して報告します。
- 離陸前：安全のアナウンスの間、乗務員がデモを行い、終わると前から後ろへ一列ずつシートベルトを確認します。客室の安全確認が済むまで「客室準備完了」の電話は少し待ちます（本来の上限を超えません）。地上走行前にドアをアームし、駐機後にディスアームします。

- 機内食と販売：回は自動アナウンス（機内食アナウンス、機長への確認、機内販売アナウンス）に従い、カートで一列ずつサービスします。1 回目の後、長距離便では水の巡回があり、チーフパーサーから乗務員食について電話があります。
- 乗客の要望：のどの渇き、空腹、トイレ、退屈、不安、疲労は時間とともに変化します。乗客は読書、音楽、Wi-Fi、視聴、睡眠、窓の外を眺めるなどして過ごし、お手洗いに並び、飲み物や毛布、手助けを求めて呼び出しボタンを押します。USB 電源がないと持ち込み端末の電池が切れます。
- 乗り心地：揺れ、大きなバンク、大きなピッチ、大きな G、ハードランディングは乗客を不安にし、不満を招きます。揺れの前にシートベルトサインを点け、後でアナウンスするとリカバーできます。
- 客室イベント（設定でオン / オフ）：客室の故障（Wi-Fi、エンタメ、お手洗い、ドア）、急病（医師を探すアナウンス → 医師 / 看護師が対応 → 重い場合は目的地変更を提案、着陸後に救急車の手配を促す）、酔客、ストーリーイベント（誕生日、プロポーズ、赤ちゃんの泣き声、不安な乗客）、約 100 か所の名所近くでの景色のお知らせ（左右を区別）、揺れの予告。
- 客室環境音：乗客のざわめき、ゲート、ギャレー、ドアでの送迎、トイレの流水、清掃、ドアの開閉、揺れやハードランディング時の叫び声や悲鳴。操縦室ドアが閉まっているとこもった音になり、外部視点では消音されます。

7.5　客室乗務員とのやりとり

- 乗務員からの電話（通信ページのインターホン）：搭乗許可、乗務員食、地上遅延中の水の提供、急病、目的地変更の提案、酔客、ストーリーイベント、景色、安全のしおりと機内誌の補充、巡航中の様子確認など。承諾 / 拒否で答えます。ドアのアーム、故障、揺れの予告、着陸へのコメント、救急車の手配などの報告は聞くだけです。
- 客室レポート：機長が客室の様子を尋ねると、乗務員は客室で最も差し迫った事柄を答えます（体調不良の人、不安、遅延への不満、お手洗い、のどの渇き、空腹、暑さ寒さ、退屈、ほとんど睡眠中、呼び出しが多い、または問題なし）。

- 「その他…」の話題：搭乗開始、搭乗を急ぐ、あとどれくらいか、10 / 20 分後に降下、音楽、コーヒー・お茶・軽食、チーフパーサーの交代など。
- 機長アナウンス：アナウンスページの「機長アナウンス」で作成ウィンドウを開きます。14 種類（ウェルカム、地上走行の待機、離陸中止、シートベルト着用の継続、巡航、降下予告、ゴーアラウンド、エンジン故障など）を選択肢から文にし、便名・目的地・機長名を自動で入れます。7 言語に対応し、巡航と降下開始時に自動で流すこともできます。

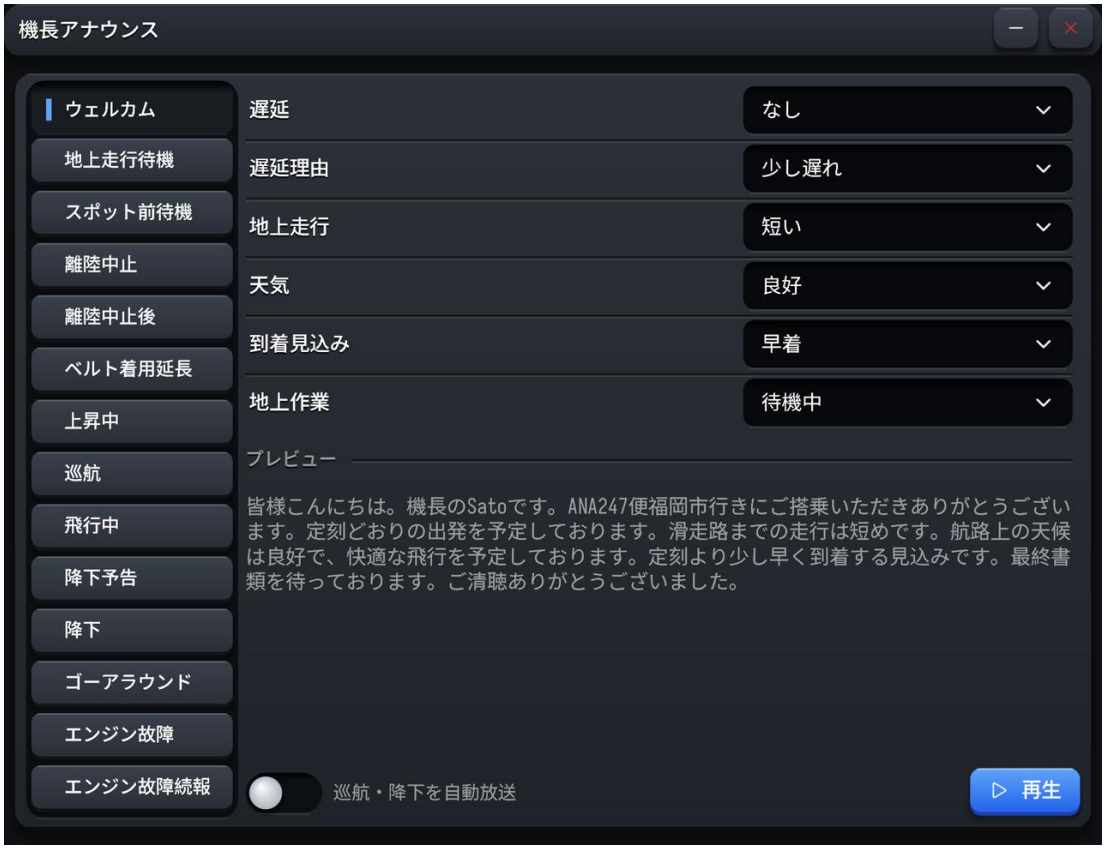


図 19　図：機長アナウンス



図 20　図：座席モニター

7.6　採点と精算

- フライト採点：採点表に「乗客」欄が加わります。乗客満足度（60 点）＋ 客室管理の達成率（40 点）＝ 乗客点。60 点を基準に 8 点ごとに 1 点が総合点に加減され、最大 ±5 です。キャリアで連続低得点による解雇の判定はパイロット自身の点だけで行われ、乗客点の影響を受けません。
- キャリア：乗客満足度は従来の計算に最大 ±10 の客室補正が加わります。客室設定で「販売歩合をキャリア収入に」がオンなら、精算で販売歩合（売上の 10%、最大で基本給の 15%）が支払われます。
- 精算の乗客ブロック：気分の推移、カテゴリ別の影響、客室管理チェックリスト（達成 ✓ / 未達成 X）、サービスの集計、実績（全 8 種、今回獲得・以前に獲得・未獲得を色分け）、乗客レビュー、航空会社の評判。
- フライトをまたいで残るもの：航空会社の評判、常連客（リピーター）、座席設備の故障（3 便後に修理）、乗客が持ち帰った安全のしおりと機内誌（次の搭乗前に補充するか乗務員が確認）。

- 履歴：客室シミュレーション飛行の記録には緑の「乗客」タグが付き、絞り込みで「乗客」だけを表示できます（DLC を持つアカウントのみ）。選ぶと成績パネルに「乗客」タブが加わり、提出時に保存された乗客の精算を表示します。乗客の精算はフライト記録と一緒にクラウドにバックアップされます。



図 21　図：精算の乗客ブロック

7.7　乗客の設定 [DLC]

設定 →「乗客」カテゴリ（乗客システム DLC を持つアカウントにのみ表示）。



図 22　図：乗客の設定

設定項目	説明
乗客シミュレーションを有効化	マススタースイッチ。
乗客からの依頼	少ない / 標準 / 多い：呼び出しボタンの頻度。
乗務員の様子確認 / 乗務員が着陸にコメント	巡航中 30〜70 分ごとに操縦室の様子を確認する電話がかかります。特に滑らかな、または強い着陸のあとに乗務員がひとこと述べます。
ストーリーイベント / 景色の案内 / 機長アナウンス自動(巡航・降下)	誕生日やプロポーズなどのストーリー、名所付近でのお知らせ、巡航到達後と降下開始時の機長アナウンス自動再生。
乗務員が自動管理	ドア、照明、温度、お手洗いの施錠、Wi-Fi を飛行段階と昼夜に応じて乗務員が自動で管理します。
客室イベント	客室の不具合（頻度と種類）、急病イベント（頻度）。

客室環境音	乗客のざわめきとゲートの環境音（オン / オフと音量）、操縦室ドア閉時の音量、状況で音量変化、ギャレー、ドアでの送迎、トイレの流水、清掃、ドア開閉、乗客の悲鳴、外部視点で消音。
座席配置	すべてのレイアウト（カスタム / ライブラリ / 自動生成）の一覧とプレビュー：新規、編集、複製、インポート、エクスポート、削除。

7.7.1　座席配置エディター

「座席配置」で「新規」または「編集」をクリックして開きます。左ドラッグで座席、通路、ギャレー、お手洗い、ドアなどを描き、右ドラッグで消します。列番号、座席記号、ドア番号は自動で付きます。「クイック作成」で 1 列の配置とクラスごとの列数から一度に作り、ブラシで微調整できます。胴体の幅や長さの変更、アッパーデッキの追加もできます。保存したカスタムレイアウトは対応機種の客室設定に表示され、エクスポートして他の人に渡すこともできます。



図 23　図：座席配置エディター

8　設定

トップバーの歯車をクリックすると設定ページが開きます。左側にカテゴリが並んでいます。ほとんどの設定は変更するとすぐに反映され、自動で保存されます。フッターの「適用」は、強制的に保存し、シミュレーターとの同時起動の設定を更新するために使用します。

8.1　一般設定 [無料]



図 24　一般設定

設定項目	説明
テーマ	ダーク / ライト。切り替えるとすぐに反映されます（比較は下図を参照）。
言語	ドロップダウンから表示言語を選択します。English、简体中文、日本語、Deutsch、Français、Español、한국어 の 7 言語に対応しています。
フォント	「システム既定」では表示言語に応じて適切なフォントを使用します

	（中国語は Microsoft YaHei UI、日本語は Yu Gothic UI、韓国語は Malgun Gothic、英語は Segoe UI、ドイツ語・フランス語・スペイン語は Bahnschrift）。インストール済みの任意のフォントを選ぶこともできます。
UI スケール	50%～150%。既定は 100% です。
不透明度	30%～100%。
マウス透過	独立したツールウィンドウへのクリックを、下にあるウィンドウに透過させます。
ニックネーム	地図上で他のプレイヤーに表示される名前（最大 24 文字）。空欄の場合は自分の位置をアップロードしません。
自動起動	MSFS 2024 と一緒に起動します（シミュレーターの EXE.xml に書き込みます）。



図 25　テーマカラーの比較（左：ライト、右：ダーク）

8.1.1　フライト情報バー　[サブスク]

MSFS が表示されている画面の上端に、常に最前面に表示されマウス操作を透過するデータバーを表示します。幅（40%～100%）、拡大率（60%～150%）、不透明度（30%～100%）を設定できます。「配置」では、対地速度、対気速度、昇降率、高度、機首方位、姿勢、G 値、飛行フェーズ、便名、COM1 周波数、トランスポンダー、飛行時間、残り時間、到着予定時刻などの項目を

「左」「右」または「非表示」の領域にドラッグします。ドラッグで位置と順序を変更でき、クリックで表示 / 非表示を切り替えられます。「既定の配置に戻す」で元に戻します。フライト情報バーのウェブ版（OBS のブラウザソースとして使用できます）は「設定 → Web」から開きます。

8.2 アカウント [無料]



図 26　アカウント

- アカウント設定：SimBrief アカウント（ユーザー名または Pilot ID）、機長と客室責任者の英語名（アナウンスで読み上げられます）。
- アクティベーションと認証：「ライセンス状態」と「詳細」（「オンラインで確認済み」「オフライン:前回の確認結果を使用中」、または認証に失敗した理由など）のほか、「メール」「アクティベーションコード」を表示します。プログラムは起動するたびに一度オンラインで認証を行います。「ログアウト」をクリックすると、このデバイスで使用中のライセンスが解放されます。

- 購読設定（永久版の購入後に表示されます）：購読コードを入力して「登録」をクリックすると引き換えられます。「購入」をクリックすると公式サイトが開きます。「有効期限」には期限の日付と残り日数が表示されます。
- 年間サブスク特典：1 年の購読コードを 1 つ引き換えるごとに、放送引換券を 1 枚アカウントにプレゼントします（半年 / 1 か月の購読コードは対象外です）。引き換えに成功したときのメッセージにも、プレゼントしたことが表示されます。

8.2.1　アクティベーションウィンドウ

まだアクティベートしていない場合、プログラムの起動後に「iAnnouncer のアクティベーション」ウィンドウが表示されます（起動ごとに最大 1 回）：

- 「言語」「テーマ」：ウィンドウの表示言語とテーマです。
- 「方法」：「引換コード」（引換コードをアクティベーションコードに交換）または「コードで有効化」。
- 「メール」と「引換コード」（または「アクティベーションコード」）を入力して、「引き換え」（または「有効化」）をクリックします。引き換えに成功すると「アクティベーションコード」ウィンドウが表示されます。アクティベーションコードは設定に自動的に保存されていますが、「アクティベーションコードをコピー」で別途保管することもできます。PC を替えたり再インストールしたりした後は、このコードで再度アクティベートする必要があります。
- 「招待コード（任意）」：方法が「引換コード」の場合にのみ表示されます。新規ユーザーがアクティベーション時に友達の招待コードを入力すると、アクティベーションの成功後に本人と招待者に放送引換券が 1 枚ずつ付与されます。招待コードはアクティベーション時にしか入力できず、後から入力することはできません。同じ PC で受け取れるのは 1 回だけで、自分の招待コードは使用できません。招待コードが無効でもアクティベーションには影響しません。
- 「購入」をクリックすると公式サイトが開きます。「無料版を使う」でウィンドウを閉じます。Esc キーでも閉じられます。

ヒント　「このライセンスは別のデバイスで使用中です」と表示された場合は、そのデバイスでプロ

グラムを終了するか、最大 3 日お待ちください。プログラムを正常に終了すると、このデバイスで使用中のライセンスは自動的に解放されます。

8.3 放送と音声 [無料] [サブスク]



図 27　放送と音声

- エンジン：通常 TTS（PC 内蔵の音声合成。話速は 50%～200%、既定 125% で、「試聴」できます）または高度な TTS（AI_TTS サービス。アドレスとポートを入力し、話速は 50%～150%、「テスト」と「ツール入手」が可能です）。高度な TTS で音声を取得できない場合は、自動的に通常 TTS に切り替わります。プランのインポート時と「開始」のクリック時に、今回の便のアナウンスをバックグラウンドで事前に生成するため、再生時に待つ必要はありません。
- 機能と音量設定：アナウンスの音量、BGM のオン / オフと音量、GSX 連携。
- 放送設定：離陸 / 着陸 / 進入を判定する対地高度と、着陸を判定する対地速度。
- ファイル：アナウンスの録音パックがあるフォルダ。

8.4 副操縦士 [永久版] [サブスク]



図 28　副操縦士

- 副操縦士の音声：音声コールアウトのオン / オフ、副操縦士アナウンスのオン / オフと音量、言語、声の性別、試聴。
- コールアウト設定：離陸速度コール（V1・VR・V2、V1・VR、V1 のみ、オフ）、機体が V1 を自動コールする場合は重複させない、フラップコールの方式、400 ft コール、「安定」N1、加速高度、通過コール高度、ミニマムなど。
- 機内通話：機内通話を有効化、副操縦士が応答、客室乗務員の声、機内通話の音量。
- コールアウト：エンジン始動、離陸、ギア、フラップ、高度、システム、進入、着陸滑走、警告、着陸評価のグループごとにチェックを入れて選択します。

8.5　RAAS 設定 [サブスク]



図 29　RAAS 設定

- RAAS 全般：マススイッチ、音量、通常音量 / 低音量、スピーカー音質（高音質 / 標準スピーカー / 古いスピーカー）、電源投入時セルフテスト、「セルフテスト」。
- RAAS 表示設定：「開く」をクリックすると表示設定ウィンドウが開きます（後述）。
- 機種設定：全機種または現在の機種について個別に設定できます。距離の単位（メートル / フィート）、電源投入遅延、視点の前方移動（0～80 m）、滑走路認識（空中 / 地上での滑走路接近、滑走路進入、誘導路離陸 / 着陸警告、短い滑走路の警告、滑走路占有の通知、残距離の読み上げなど）、着陸モニター（フラップゲート、進入角と速度、高度計、ロングランディング）、オーバーラン防止 ROP（エアバス / ボーイングスタイル、滑走路状態、減速率、AUTOBRAKE OFF コール）を設定します。

8.5.1　RAAS 表示設定ウィンドウ

RAAS の警告テキストをコックピットの画面に表示します。変更は「適用して終了」をクリックしたときにのみ保存されます。未保存の変更がある状態でウィンドウを閉じようとすると、先に確認が表示されます。

- 概要：「表示を有効」、「表示レベル」（すべて / 通常以上 / 注意以上 / 警告以上）、「ND 地形スイッチ連動」と、ライブプレビュー。
- ディスプレイ一覧：「ディスプレイ追加」「既定に戻す」「削除」。
- パネル連携：「接続パネル」はドロップダウンから選択するか、「パネル+位置を選択」「パネルのみ選択」をクリックしてから 30 秒以内にシミュレーター内で対象のディスプレイをクリックします。「固有値」はコックピットページの計器名で、パネル番号が変わっても変化しません。「現在に固定」をクリックすると自動的に入力されます。パネルの識別では固有値が優先され、一致しない場合は「パネル名」「パネル照合」で判定します。
- 位置：X 位置 / Y 位置（微調整可能）、文字サイズ、スペース中央寄せ、フォント。
- 詳細：追加 CSS、明るさ式、電源条件、地形条件。
- ウィンドウタイトルのバッジには接続状態が表示されます：接続中、既定で代替、未接続、未割り当て。

8.6 ATC [サブスク]



図 30　ATC

- ATC エンジン：ATC を有効化、ATC 言語（自動 / 中文 / 日本語 / English）、VFR 用語地域（自動 / 米国式 / 英国式 / 豪州・NZ 式）、飛行方式（プラン通り / IFR / VFR）。VFR の場合は計画の取得元（SimBrief / MSFS ワールドマップ / 計画ファイル .pln/.lnmpln）を選択できます。
- 通信と無線：自動チューニング、自動トランスポンダー設定、自動応答、着陸後に駐機場へのタキシーを自動要求、シム内タキシー誘導矢印（シミュレーター内の地面にタキシー経路に沿って緑の矢印を表示し、機体が離陸すると消えます）、コックピット無線操作、音声ボリューム。
- GSX 連携：GSX プッシュバック、GSX スポット選択。
- AI トラフィック：AI トラフィックを有効化、駐機 / アクティブ密度（0～200 機）。ATC リソースとフライトスケジュールが必要です。

ATC 言語で中文または日本語を選択すると、管制の用語はその言語に翻訳されます。「自動」を選択した場合は、管制局の所在地域と航空会社の国籍がどちらも中国（またはどちらも日本）のときにのみ翻訳され、それ以外は英語を使用します。

8.7 地上通信 [サブスク]



図 31　地上通信

- 地上通信：有効化スイッチと、GSX の推奨設定のチェックです。「修正」でまとめて修正できます。
- 機体設定：エンジン始動順序、既定の片発タキシー、関連する呼び出しを設定します。「機体プロファイルに戻す」で元に戻せます。この機体で利用できる機能も一覧表示されます。
- 音声：会話の言語（航空会社と空港の国に応じて自動）、コックピット音声、航空会社に合わせたコックピットの訛り、地上係員の声の性別、グランド無線とコックピット内話の音質、無線ノイズとクリック音、空港名の読み上げ、音量など。
- GSX 連携：GSX 画面メッセージを隠す、GSX リモート制御を保持など。

- 地上手順：地上ヘッドセット接続音、地上電源を自動切断、到着時にチョーク・電源を自動設定、滑りやすい路面では始動許可を遅らせる、プッシュバック後にエンジン始動を待つ。
- 呼出通知と無線：インターホンがミュートのときに先に通知する、通話音量をコックピットの音声パネルに合わせる、通知音と無線ノイズ、環境音の音量。
- ゲーム内字幕：シミュレーター画面に会話の字幕を表示します。サイズ、不透明度、位置を調整でき、「字幕をプレビュー」で確認できます。

8.8 地図とチャート [永久版]



図 32　地図とチャート

- OpenWeather API Key：入力すると、地図に水蒸気・雲の画像を表示できます。
- デフォルト表示項目：地図ページの各チェック項目の初期状態です。
- オフラインチャートフォルダ：*.fcp チャートパックを保存するフォルダです。

8.9 天気 [DLC]

天気システム（DLC）の設定です。天気システムの DLC を所有しているアカウントでのみ、このカテゴリが表示されます。

設定項目	説明
リアル天気を注入	マスタースイッチです。実際の METAR と GFS / ECMWF / ICON モデルを融合し、飛行中に MSFS へ書き込みます。
雲の表現	「注入」では本プログラムが天気を書き込みます。「MSFS ライブ」ではシミュレーターが独自に天気を描画し、本プログラムは注入せず、体感の気流効果のみを追加します。
対象シミュレーター	「自動」では接続中のシミュレーターに従います。
今すぐ天気を更新	「更新」をクリックすると、次のサイクルで天気を再取得します（天気の注入が動作しているときのみ有効）。
遷移速度	極低速 / シネマ / スムーズ / 高速。
連続トランジション	MSFS 2024 のみ。天気が段階的ではなく連続的に変化します。フレームレートが落ちる場合はオフにしてください。
雲量上限 / 雲の密度 / 乱気流	空が雲で覆われる割合の上限、雲の密度、乱気流の強さを調整します。
先読み距離 / ルート回廊	航跡に沿って（「ルート回廊」をオンにした場合は読み込んだ SimBrief ルートに沿って）前方の天気を先に取得します。
低高度で固定 / 固定高度	設定した対地高度未満では天気を変化させません。
到着保持 / 出発保持	目的地から設定距離以内に入ると目的地の天気に固定し、設定した対地高度まで上昇するまでは出発空港の天気を保持します。

ヒント　気象データ：Open-Meteo.com（CC BY 4.0）、NOAA AviationWeather / NWS。

8.10　パネル　[サブスク]



図 33　パネル

コックピット内の計器画面（PFD、ND、MCDU など）を取り出して独立したウィンドウに表示します。別の画面に配置したり、ウェブ経由でタブレットに表示したりできます。

- パネルキャプチャ：有効化スイッチ、機体一致時にレイアウトを自動で開く（開始後に有効）。
- ツール：パネル検出、プロファイル、「レイアウト実行」「すべて閉じる」。
- 表示設定：空のパネルを隠す、非アクティブ時にプレビューを一時停止、目標 FPS、フィット方式、タッチ長押し遅延、ウィンドウを最前面に表示、ウィンドウの位置を固定。
- 詳細・トラブルシュート：キャプチャ方式、テクスチャ種別フィルタ、デバッグ情報。
- 診断情報：現在の機体、DirectX のバージョン、および動作条件を満たしていない場合のメッセージ。ほとんどのパネルはクリック操作できますが、一部の WASM 計器は合成入力を受け付けないため、クリックしても反応しません。

ヒント　パネルキャプチャを使用するには、MSFS を DirectX 12 で実行し、iAnnouncer を管理者として実行する必要があります。

8.11　録画設定 [サブスク]



図 34　録画設定

- 記録機能：有効にすると、飛行ページに「リプレイ」と「着陸リプレイ」が表示されます。
- リプレイ（録画 / 再生 / カメラ / AI / 録音）：サンプリング頻度、録画内容、自動ファイル名とフォルダ、録画の自動開始 / 自動停止、高度トリガー、クラッシュからの復旧、再生オプション、カメラのパラメーター、ゴーストと録音の設定。
- 着陸記録：着陸を自動記録、停止シグナル、対地速度しきい値、サンプリングレート、最大長さ、保存件数。
- 動画の書き出し：動画エンコーダーとビットレート。

8.12　飛行履歴 [サブスク]



図 35　飛行履歴

- 履歴クラウドバックアップ：ローカルとクラウドの記録数、未アップロード、未復元、クラウド使用量、最終アップロード。
- バックアップと復元：「今すぐバックアップ」、「クラウドから復元」（ローカルにない記録だけを補います）、「クラウドのバックアップを削除」。
- フライト記録の提出後に自動でバックアップします。最短間隔を設定できます。

8.13　リソース [永久版] [サブスク]



図 36　リソース

- 「更新」で再確認、「すべてダウンロード」で必須リソースをダウンロード、「フォルダーを開く」でデータフォルダを開きます。
- 各リソースにはサイズと状態（ダウンロード済み / 未ダウンロード / ダウンロード中 / 検証中 / 展開中 / 再起動後に適用 / 失敗）が表示され、個別のダウンロード、再試行、「再ダウンロード」が可能です。大きなファイルはダウンロードの再開（レジューム）に対応しています。

ヒント　ダウンロードは「開始」をクリックする前に行ってください。実行中にダウンロードが完了したファイルは、次回起動時に自動的に差し替えられます。

8.14 Web [サブスク]



図 37　Web アクセス

「Web アクセス」を有効にすると、LAN 内のパソコン、タブレット、スマートフォンのブラウザで「ミラーページ」のアドレスを開き、iAnnouncer の画面をリモートで表示・操作できます。「情報バーのウェブページ」は OBS のブラウザソースとして使用できます。パネルビューアもこのサービスを利用しています。

- アクセスポート：既定は 5173 です。使用中の場合はメッセージが表示されるので、別のポートに変更して再試行してください。
- ミラーページ / 情報バーのウェブページ：サービスの実行中にアドレスをクリックすると、ブラウザで開きます。マウスを重ねると、この PC の各ネットワークアダプターのアドレスを確認できます。
- 状態：実行中かどうかと、接続中のウェブクライアントの数。
- サービス：「起動」/「停止」。オン / オフの状態は記憶され、次回プログラムを起動したときに自動的にその状態で開始します。

8.15　ログ報告 [サブスク]

問題が発生したときに、問題の説明、今回の実行ログ、スクリーンショットをまとめて開発者に送信できます。

- 「問題の説明」：問題の内容と発生したタイミングを記入します。「連絡先」：任意です。開発者から連絡する際に使用します。
- 「今回のログを送信」：既定でオンになっており、今回の実行ログを添付します。「デバッグログ」をオンにすると、より詳しい情報を記録できます。
- 「スクリーンショット」：最大 3 枚まで添付できます。「画像を追加」するか、Win+Shift+S で撮影してから「貼り付け」をクリックします。
- 「報告を送信」をクリックすると送信されます。成功すると報告番号が表示されるので、サポートに連絡するときはこの番号をお伝えください。

ヒント　送信前に、メールアドレス、アクティベーションコード、Windows のユーザー名とコンピューター名はログから削除されます。

8.16　バージョンと更新 [無料]



図 38　バージョンと更新

- ソフトウェア更新：現在のバージョンと更新状況を表示します。「更新を確認」で手動で確認できます。
- 更新元：Cloudflare または Shanghai。選択した更新元が優先して使用され、もう一方は自動的にバックアップとして使用されます。
- プログラムは起動するたびにバックグラウンドで更新を確認します。新しいバージョンが見つかると「アップデートがあります」と表示されます。「更新する」を選ぶとプログラムが終了し、更新プログラムがコンソールウィンドウで更新を行ってから自動的に再起動します。「後で」を選ぶこともできます。更新が必須の一部のバージョンでは、「更新する」と「終了」のみが表示されます。無料版は Cloudflare からのみ自動で更新され、「更新元」は表示されません。

8.16.1　利用規約

「利用規約」に同意した日時が表示されます。「利用規約を表示」をクリックすると、いつでも全文を読むことができます（7 言語に対応し、ウィンドウ内で切り替えられます）。規約には、ライ

センスの範囲、ユーザーの行動規範、アカウントの停止や閉鎖となる場合、データとプライバシー、およびソフトウェアが PC に加える変更について記載されていますので、必ずお読みください。

9　よくある質問

質問	解決方法
リソースのダウンロード後に「再起動後に適用」と表示される	実行中はデータファイルが使用中です。新しいファイルは検証済みで一時保存されており、iAnnouncer を再起動すると自動的に差し替えられます。「開始」をクリックする前にダウンロードすることをお勧めします。
「開始」をクリックすると「MSFS に接続できませんでした」と表示される	プログラムは 2 秒ごとに再試行を続けます。シミュレーターが起動してフライトに入っていることを確認してください。接続されると自動的に復帰します。
「開始」をクリックすると SimBrief が必要と表示される	ホームの航空会社、巡航高度、DEP、ARR の 4 項目がすべて入力されていない場合、SimBrief から自動的にインポートします。設定で SimBrief アカウントを入力するか、ホームで 4 項目をすべて手動入力して簡易プランで運航してください。自家用機 / ビジネスジェットのプランで航空会社がない場合は、ホームで 3 文字の航空会社コードを手動で入力する必要があります。
ホームの DEP/ARR を変更できない、インポートボタンがグレー表示になっている	飛行中は出発・到着空港がロックされます。先に「停止」してから変更またはインポートしてください。
ATC が反応しない	ATC を有効化していること、ATC リソースをダウンロード済みであること、プランをインポート済みであること、「開始」をクリック済みであることを確認してください。通信ページの ATC タブに、現在どの段階で止まっているかが表示されます。
GSX ページが待機中の	GSX Pro を起動し、GSX の設定でリモートサーバー（Remote）を有

ままになる	効にしてください。
「リプレイ」「着陸リプレイ」が表示されない	「設定 → 録画設定」で「記録機能を有効にする」をオンにしてください。
「着陸」「安全ビデオ」タブが表示されない	この 2 つのタブは条件に応じて表示されます。着陸分析が作成されると「着陸」が、安全ビデオを自動再生するときに「安全ビデオ」が表示されます。
アナウンスページの変更が再起動後に消える	アナウンスページでの変更は、フッターの「適用」をクリックしないとディスクに保存されません。
地図ページが空白になる、または WebView2 に関するメッセージが表示される	Microsoft Edge WebView2 ランタイムをインストールしてから「再試行」をクリックしてください。
ライセンスが別のデバイスで使用中と表示される	もう一方のデバイスでプログラムを終了するか「ログアウト」をクリックしてください。または最大 3 日お待ちください。プログラムを正常に終了すると、ライセンスは自動的に解放されます。
アクティベーションウィンドウが表示されない	アクティベーションウィンドウは、まだアクティベートしていない場合にのみ起動後に表示されます。「設定 → アカウント」でメールアドレスとアクティベーションコードを入力し、プログラムを再起動して認証することもできます。
プログラムをもう一度起動しても新しいウィンドウが開かない	プログラムは 1 つのインスタンスしか実行できません。もう一度起動すると既存のウィンドウが前面に表示されます。
キャリアの記録を履歴から削除できない	キャリアの記録は保護されているため削除できません。

ページに「永久版の購入が必要です」や「サブスク限定機能です」と表示される	その機能は現在のエディションに含まれていません。「エディションとライセンス」の章の対応表を参照してください。
公式機内放送に「要サブスク」と表示される	公式機内放送には有効なサブスクリプションが必要です。再度購読すると、引き換え済みの航空会社は自動的に使用できるようになります。
設定に「天気」カテゴリがない	天気システムは DLC のため、この DLC を所有しているアカウントでのみ「天気」カテゴリが表示されます。
引換券が足りない / 引換券の入手方法	公式機内放送ウィンドウで「購入」をクリックするか、1 年の購読コードを引き換える（1 つにつき 1 枚）か、友達を招待してアクティベートしてもらう（双方に 1 枚ずつ）ことで入手できます。
アクティベーション後に招待コードを入力し忘れたことに気付いた	招待コードはアクティベーション時にしか入力できず、後から入力することはできません。
起動時に再び利用規約が表示された	利用規約が改訂されると、再度の確認をお願いしています。同意すると以降は表示されません。

10　免責事項

1. 本書は作成時点のソフトウェアのバージョンに基づいて作成されたものであり、参考情報としてのみ提供されます。ソフトウェアの機能、画面、操作方法および各種データについては、実際のソフトウェアが優先されます。
2. ソフトウェアの機能、画面、データおよび本書の内容は、バージョンの更新に伴い予告なく変更されることがあります。
3. 本書に掲載されているスクリーンショットはイメージであり、バージョン、設定、機体またはシミュレーターの状態の違いにより、実際の表示と異なる場合があります。
4. 本ソフトウェアはフライトシミュレーションの娯楽用途専用であり、実際の航空機の飛行、航法、訓練、その他実際の飛行の安全に関わるいかなる用途にも使用してはなりません。
5. 本ソフトウェアに含まれる航法データ、気象、チャート、フライト、機体パラメーターなどの情報は第三者またはシミュレーターから提供されるものであり、不正確、不完全または古い場合があります。その正確性および適時性については保証いたしません。
6. 本ソフトウェアは Microsoft Flight Simulator、SimBrief、GSX Pro および各種機体アドオンなどの第三者の製品およびサービスと組み合わせて使用されます。これらの第三者の製品およびサービスの可用性、互換性およびその変更は、本ソフトウェアの管理の範囲外です。
7. 本書に記載されている製品名および商標は、それぞれの所有者に帰属します。これらは互換性を説明する目的でのみ使用しており、当該権利者との提携関係またはその承認を意味するものではありません。
8. 法律で認められる範囲において、本ソフトウェアおよび本書の使用または使用不能により生じたいかなる直接的または間接的な損害（データの消失、シミュレーターの異常、セーブデータの破損などを含みますが、これらに限りません）についても、開発者は責任を負いません。